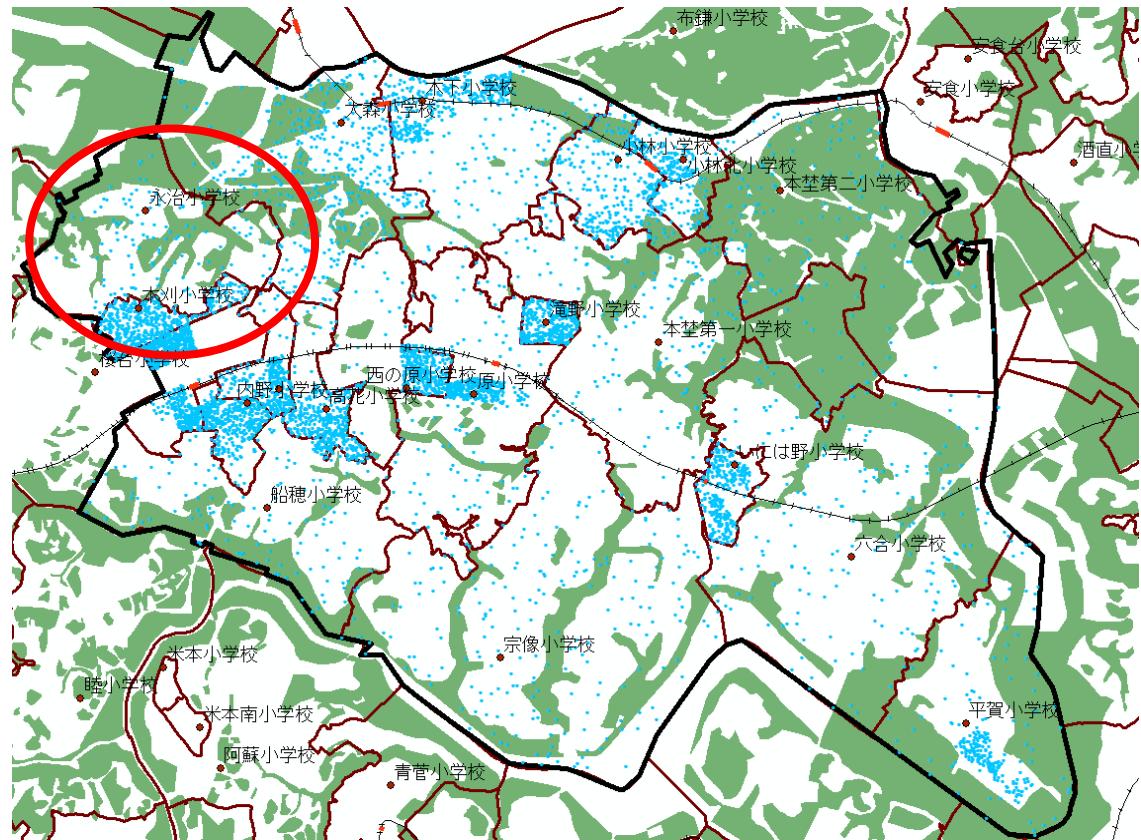


千葉県における 小学校の 地域的課題

松戸国際高校3年 山崎友加里

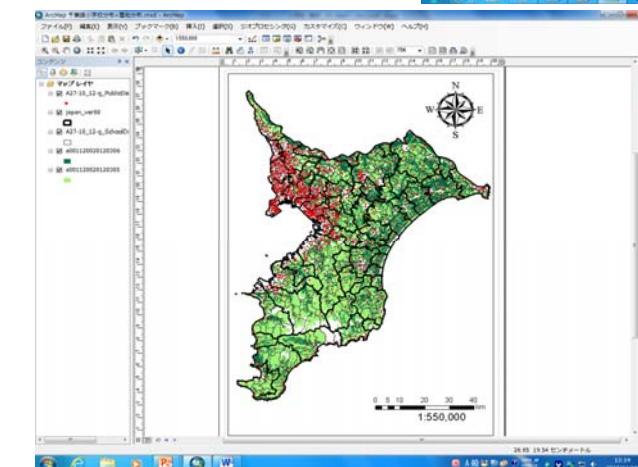
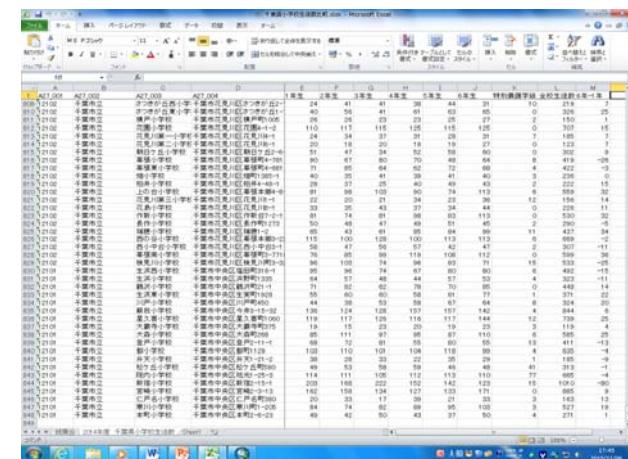
田園と都市が共生している印西市

右図の黒線で囲まれているのは印西市で、青い点は人口密度、農村地域は緑色で印されています。印西市では昭和40年ころからニュータウン事業計画が始まり交通機関の発達、住宅地の新設が進められました。しかし、ニュータウン地域は年々人口が増加する一方で、農村地域では高齢化が進み、いくつかの学校が廃校の危機に置かれています。このような状況が身近にあったことから、学校の統廃合に興味を持ち、地域の人口が反映されやすい公立の小学校に的を絞り、統廃合問題を研究テーマとしました。



研究方法

学校教育情報サイトを用いて2014年度の千葉県内全公立小学校の住所・全校生徒数・各学年の生徒数をExcelにまとめ、ArcGISを用いて小学校の分布図を作成し、国土数値情報、国土地理院、ESRIからダウンロードした土地利用等の統廃合と関連性のありそうな要素を地図上で掛け合わせ、千葉県の小学校の分布の特徴を考えました。

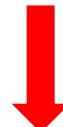


少子化の現状

日本は近年少子化が問題となっていて、戦後に起こった第一次ベビーブーム(1971～74)から出生数は増減はあるものの全体的に減少傾向にあり、合計特殊出生率(…一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す)は第一次ベビーブーム期には4.32人、第二次ベビーブーム期には2.14人、平成17年には過去最低の1.26人を記録し、平成25年(内閣府発表最新データ)では数値は少し上がったものの1.43人という結果でした。

千葉県の小学生の児童数の変化

平成7年度 381,998人



61242人減

平成27年度 320,756人

学校統合の基準

- ①「学校規模の適正化」として、クラス替えができるかどうかを判断基準に、**小学校で6学級以下、中学校で3学級以下の学校については、速やかに統廃合の適否を検討する必要があるとしたこと。**
- ②「学校の適正配置」として、従来の通学距離について**小学校で4km以内、中学校で6km以内**という基準は引き続き妥当としつつ、スクールバスの導入などで**交通手段が確保できる場合は「おおむね1時間以内」を目安とする**という基準を加えたこと。

統廃合を選択しない場合

- ①離島や山間部、豪雪地帯など通学距離が遠すぎる、スクールバスを使っても安全を確保出来ない場合。
- ②廃校後、更なる少子化の進展が予想される場合。
- ③同一市町村内に一つしか学校がない、または、小中一貫の学校など統廃合を進めることが不可能な場合。

千葉県で平成27年3月までに廃止予定の小学校19校

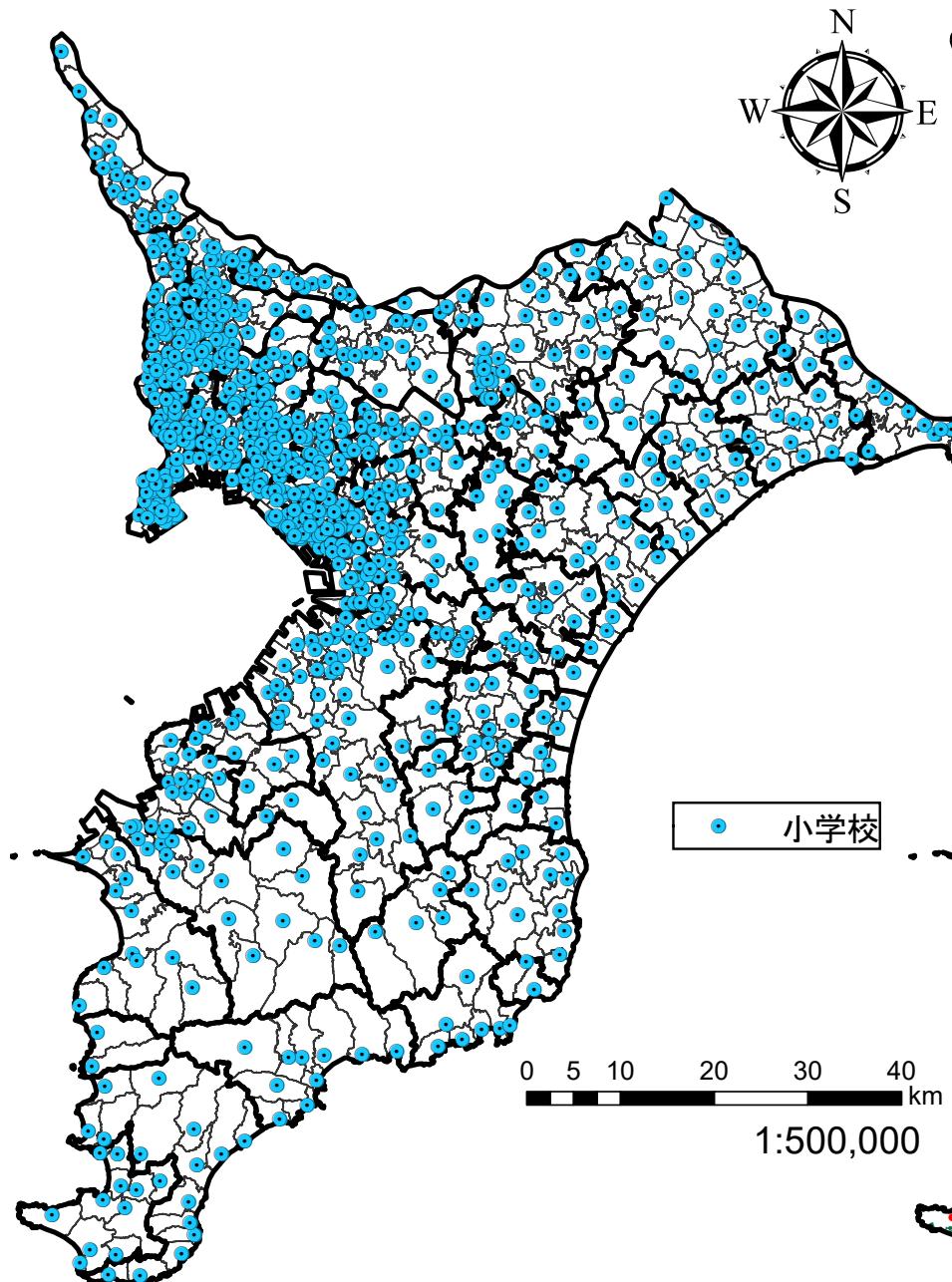


図1 公立小学校の分布

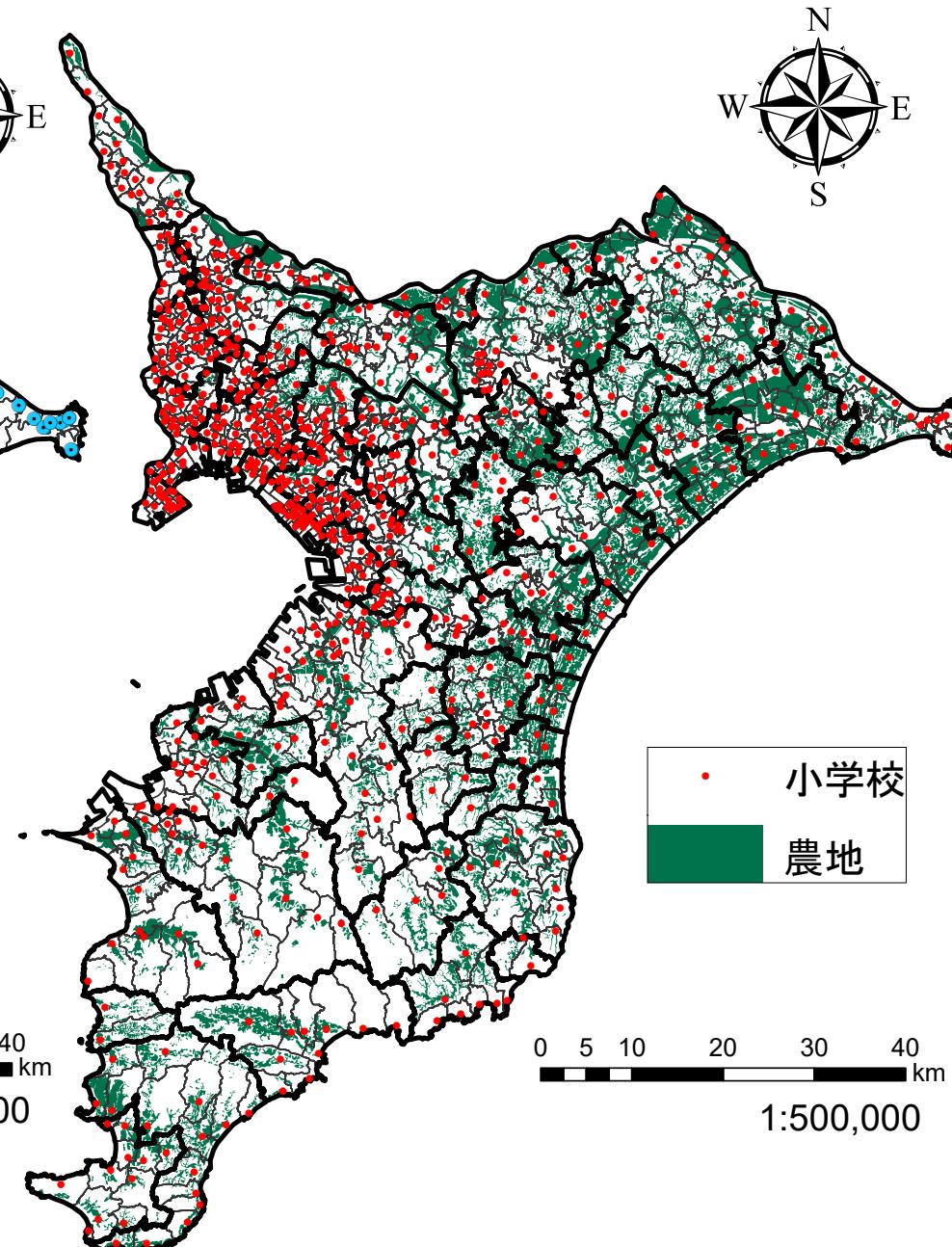


図2 小学校分布×農地分布

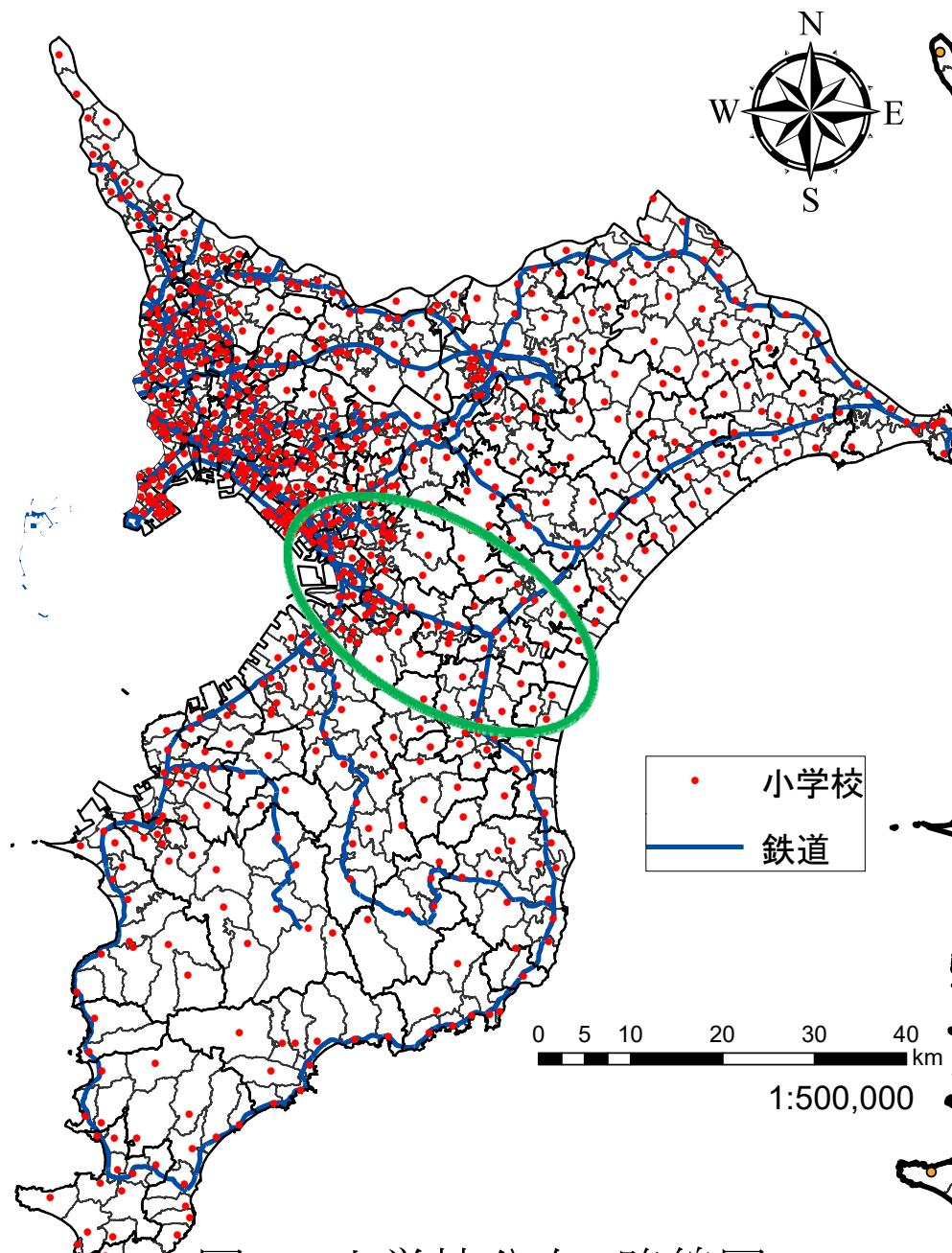


図3 小学校分布×路線図

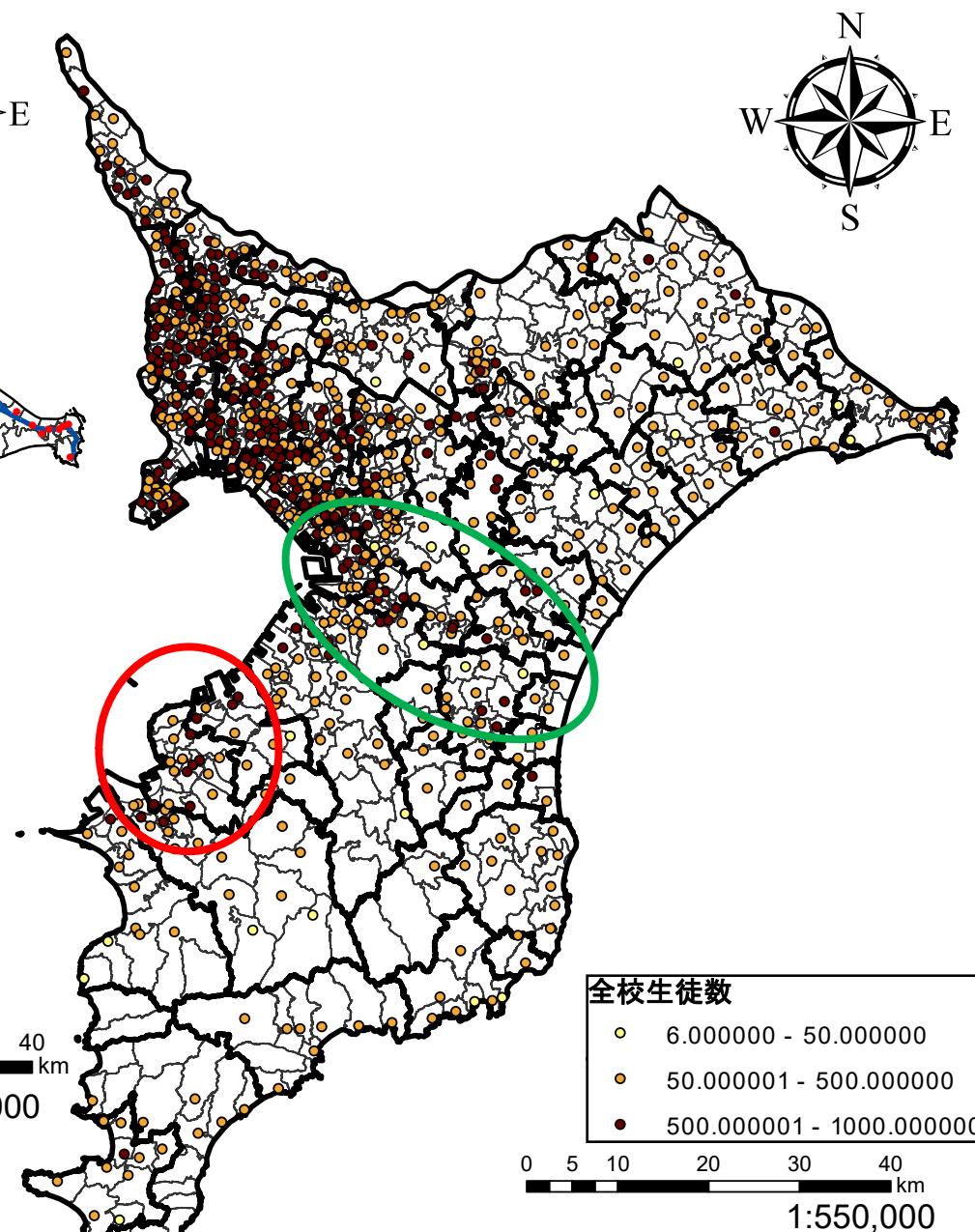


図4 全校生徒数別小学校分布

- ① 図1より都心に近い東葛・葛南地区、千葉市周辺の小学校の密度は高く、都心から遠い地域ほど低い。また、山地にあたる内陸部は小学校の密度が低い。
- ② 図2より農村地域ほど小学校の密度が低く、学区が広い。
- ③ 図3より交通機関が充実している地域ほど小学校の密度は高い。図3、図4の緑色で囲まれた地域を見ると、線路沿いに児童数の多い学校があることもわかる。
- ④ 図4より小学校の密度が高い地域は児童数も多く、密度が低い地域ほど児童数も少ない。

その他に、工業地域分布や観光資源の分布との比較も行いましたが、あまり関連性は見られませんでした。

木更津市の学生の人口が多いのはなぜ？

- ・交通環境の整備が進んだ。
(東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道等)
- ・東京湾アクアラインの通行料金引き下げられた。

||

都心へのアクセスが良くなる



新興住宅地の設立



子育て世代の人口増加に成功



新興住宅地に新しい小学校も開校

立地が悪くても交通環境が整えば人口増加につながる。

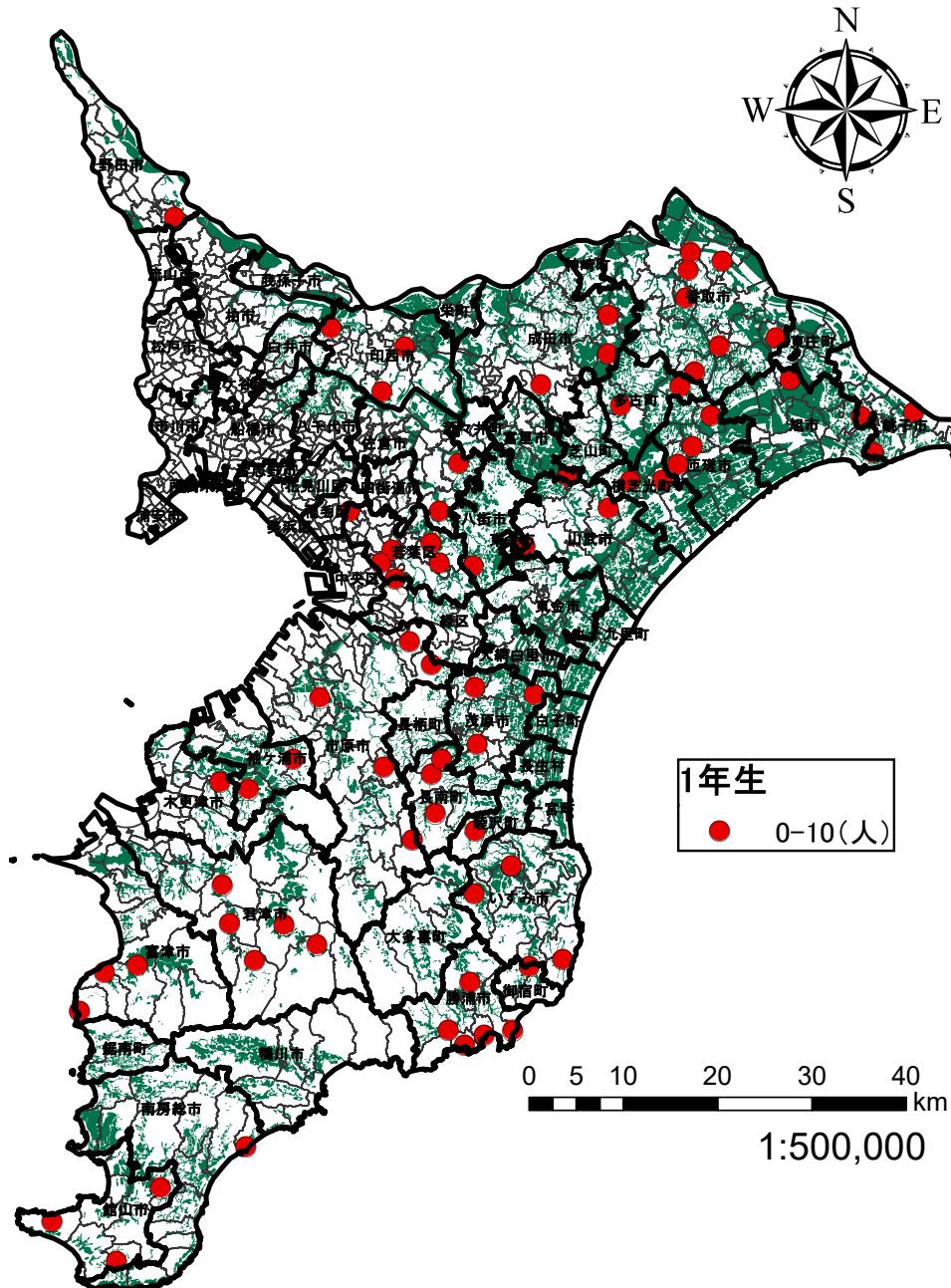


図5 入学生が**10**人以下の小学校の分布

- ・図5より入学生が10人以下の公立小学校は73校と予想以上に多く、東葛・葛南地区を除いて広範囲に分布している。

千葉県小学校の基本データ

- ・千葉県の小学校児童数: 323,173人
 - ・小学校数: 830校
- $$323173 \text{人} \div 830 \text{校} = 389 \text{人}$$
- こんなには上手く配分されないのが実状...

千葉県で最も小規模な小学校は...

市原市立平三小学校で

11人

千葉県で最も大規模な小学校は...

船橋市立葛飾小学校で

1456人

その差は132倍！！！

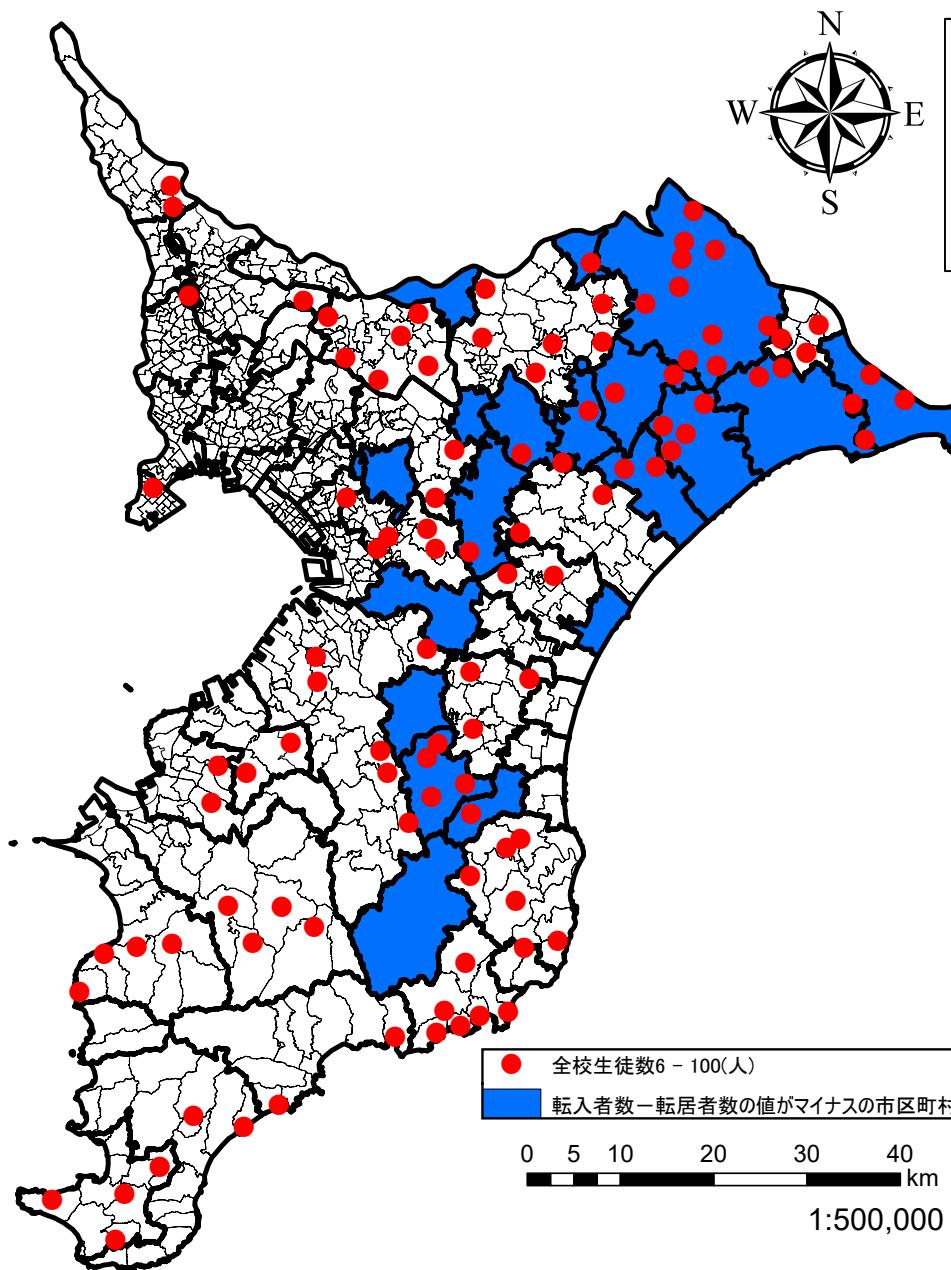
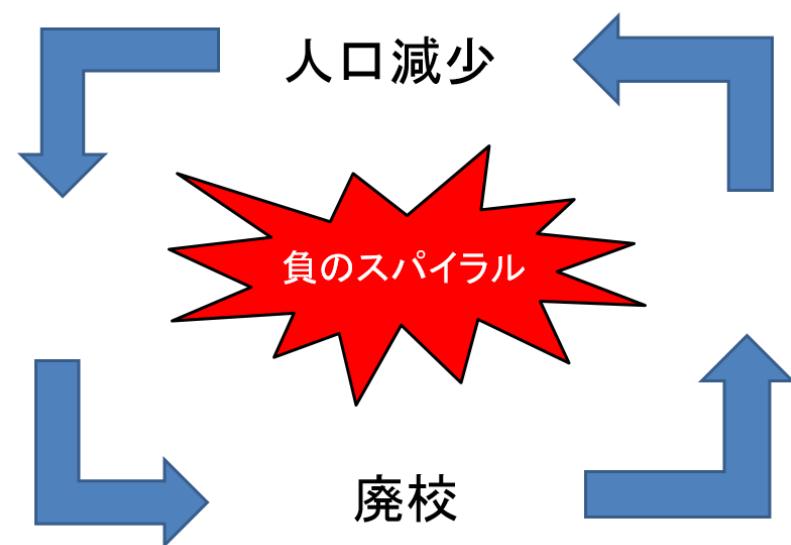


図6 全校生徒数が**100**人以下の小学校の分布
×
転入者数-転出者数がマイナスの地域

※転入者数-転出者数の値がマイナス
=ある地域に引っ越してくる人より出ていく
人の方が多いということなので、その地域
の人口が減少していることを表します。

- ・図6より転入者数-転出者数の値がマイナスの地域と全校生徒数が少ない小学校の地域は半数近くが一致している。これらの地域で統廃合が行われた場合、地域内の少子化がさらに進む可能性が考えられる。



千葉県の小規模小学校の例

①佐倉市立弥富小学校

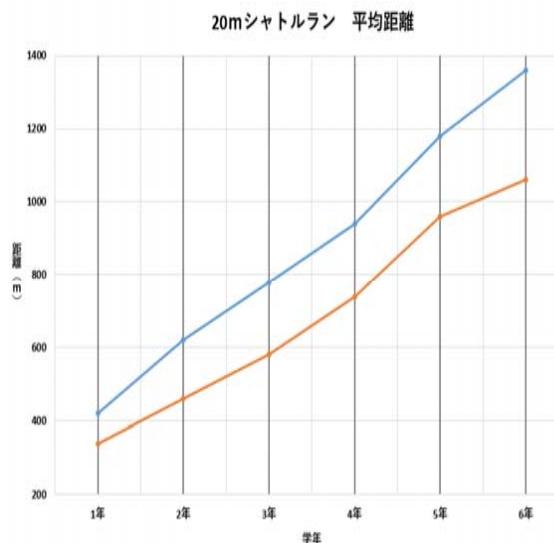
特徴

- ・**小規模特認校**に指定されている。
…児童数減少による複式学級化を解消するため、市内全域から児童を受け入れて、学校の活性化を図っている。また、少人数によるきめ細かい指導や、地域と連携した教育活動を推進し、一人一人の児童に確かな学力と、豊かな心を育てることを目的として、特色あるカリキュラムで学校を運営している。

②千葉市立更科小学校 富田分校

特徴

- ・運動会、水泳授業、ボランティア活動、交流授業などで、本校と交流を図っている。
- ・曜日によりさまざまな教員が本校から来る。
- ・**5年生**からは本校である更科小学校に通学する。



1年生では400mほどしか持続的に走ることができませんが、5年生にもなると1kmもの距離を走り続けることが出来るようになります。そのため、低学年時には分校に通うことで安全な通学を確保し、体力がある程度ついた高学年から本校と合流する分校が多いのではないでしょうか。

結論

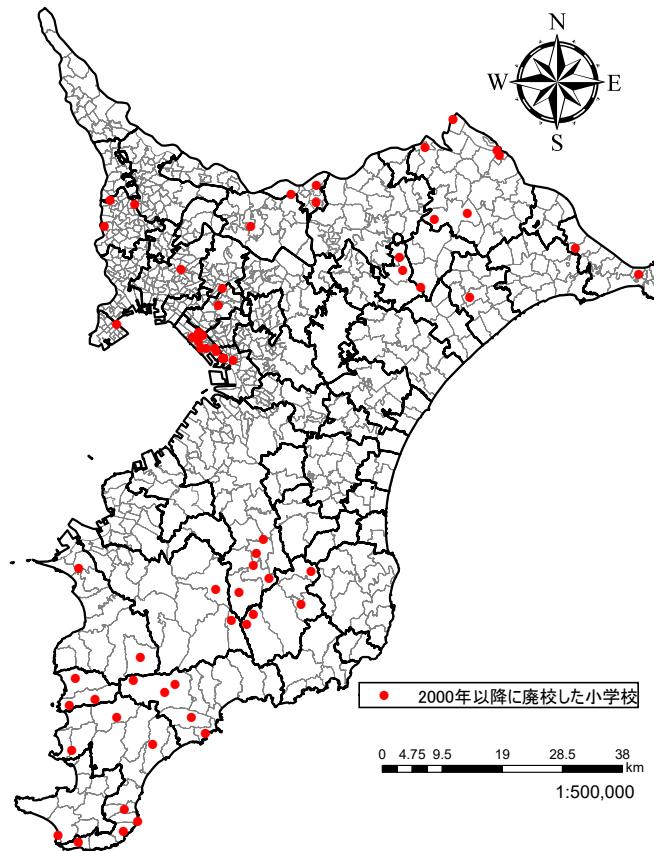
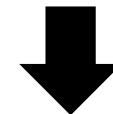
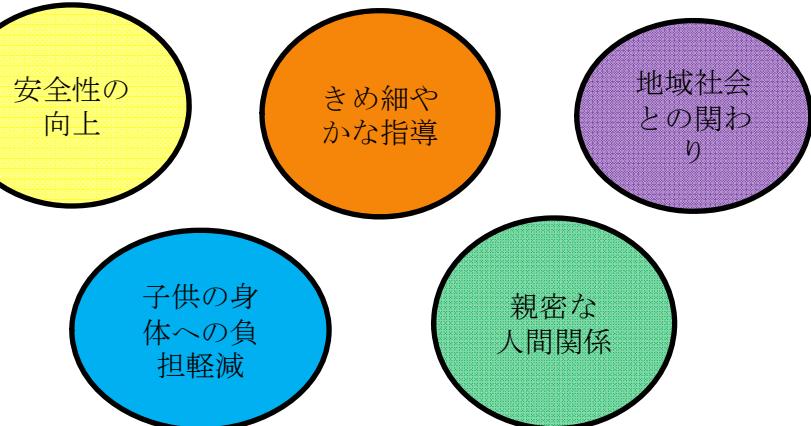


図7 2000年以降に廃校した小学校の分布図

図7より、都心から離れた地域では地域内の全体的な人口減少による廃校、千葉市の密集した地域では団地の高齢化による児童数減少が廃校の原因として考えられる。

南房総の地域等の学区が広く、統廃合による生徒への負担が大きい場所もある一方で、千葉市のように元々の学区が狭く、統廃合を行っても通学面に大きな影響が出ない地域もあることがわかります。

小規模校の利点



統廃合は地域によって原因が異なるため一概には言えないが、統廃合するのではなく小規模校や分校を存在させることも地域によっては良案であると考えます。

